



かんれい

学校だより 第30号

発行 函嶺白百合学園小学校
足柄下郡箱根町強羅 1320
Tel 0460(87)6611
発行日 平成29年 3月17日

チロになりきって音読しよう！ 1年生

国語で、「おとうとねずみチロ」という物語の学習をしました。そのお話の中で、チロが丘のてっぺんの木の上へのぼり、おばあちゃんの家の方に向かって「ぼくにもチョッキ、あんでね。」と叫ぶ場面があります。この場面を工夫して読むという授業を行ったときの様子を紹介いたします。

- ㊦「チロになりきって、気持ちを込めて読むために何かいいアイデアはありませんか？」
- ㊦「手をメガホンのようにする。」
- ㊦「まだ、ありませんか？」
- ㊦「背伸びをして言う。」
- ㊦「まだ、まだありませんか？」
- ㊦「木の枝で、チロは叫んでいるので、椅子にのるのはどうですか。」



なるほど！友だちの意見を聞いていると、さらにいいアイデアが出てきます。そして、“高い木の枝にのぼったつもりで椅子の上に立ち、手をメガホンのようにし、遠くのおばあちゃんの家によく聞こえる大きな声で、背伸びするように、体を前に突き出して読む”と、いいのではないかと皆で話し合いました。実際にやってみることに。椅子の上に立ち、気持ちをこめて…

- ㊦「ぼくにも チョッキ、 あんでねー。」(とても大きな声で)
- 「あんでねー。」「あんでねー。」「あんでねー。」……(やまびこ)

チロになりきって音読することができました。この日の学習の記録には、『チロになって音読することができました。』『音読が楽しかったです。』『チョッキがほしい気持ちを大きな声にしました。』など…。音読の楽しさを味わうことができたようです。

ごきげんよう はじめまして！ 6年生



1月16日(月)に6年生は湘南白百合学園小学校を訪れました。姉妹校を訪問するのは初めてのことです。何年か前から九段と湘南の6年生が交流会を始め、8校ある姉妹校の中で同じ関東圏にある3校で今年は是非会いませんかとお誘いを受け、函嶺も参加する運びとなりました。

小田原に集合し、片瀬江ノ島まで行くと湘南の先生が出迎えてくださいました。駅から歩いていくとすぐ、校門が見えてきました。「ここから入るの?」「こっちが体育館なんだ」函嶺とは違う雰囲気のをきょろきょろ見回しています。そして、体育館に入ると湘南の6年生が並んで出迎えてくれました。まず、人数の違いにびっくり!!(事前に学校で、湘南や九段は3クラスあるのでグループに分かれた時は、函嶺は各グループに一人になってしまうことを話した時、やはり一番驚いていたのは人数の違いでした。)続いて九段の6年生も到着。こちらの人数にもまたまたびっくり。ちょっぴり圧倒されてしまった

6年生。何だか緊張感が漂ってきました。全員集まったところで交流会の始まりです。まず、それぞれの代表者が挨拶をしました。次に校歌を披露。校歌は、姉妹校全て同じメロディなのですが、歌詞は函嶺だけが違います。緊張の中、歌を披露しました。違う歌詞に耳を傾け聞いてくれている湘南・九段の6年生。歌い終わると少しほっとしたようです。「緊張した」「あんなに大勢いるんだもん」などと口々に言っていました。

次は3グループに別れ、場所を変えて学校紹介を行いました。このあたりからどの子たちも緊張がほぐれ、打ち解けていったようです。函嶺の紹介の時には温泉のことにも触れたので、皆驚いていました。同じ白百合でも知らないことが多く、それぞれの学校の様子を知る機会になりよかったです。

その後はさらに小グループになり、昼食タイム。この時間になるとかなり話も弾み、みな楽しそうに談笑しながら昼食を取りました。昼食が終わると外へ。江ノ島の町を散策です。グループごとに湘南の子が先導し案内をしてくれました。楽しい時間はあっというまです。1時間くらい散策をしたら、もうお別れの時間。仲良くなった子ども達は、「また会えるといいね」「手紙書くからね」「私のこと忘れないでね」など別れを惜しんでいました。初めは一人でグループに入るのは嫌だなど言っていた6年生も、あっという間に仲良くなり楽しんでいる様子が見られ、安心しました。同じ制服を着た新しい仲間と出会え、6年生はまた一つ宝物が増えました。

卒業生との集い 4年生

“わかーい カとチームワークで〜♪”この歌詞から始まる歌は、毎年展覧会が終わってから、お休み時間の校舎内に響き渡ります。この歌は、卒業生とのつどいで、6年生対5年生のバスケットボールの試合を応援する応援歌です。毎年、4年生がリーダーとなって応援団をつくり、1年生から3年生までの下級生に応援指導を行って、卒業生とのつどいで、試合の応援を行います。初めて、リーダーとなって動くことになる4年生にとって、やる気を発揮する



またとないチャンスです。応援団を決めるときから、4年生は積極的な人が多く、自ら手を挙げて立候補する人がほとんどでした。応援団が決まってからの行動も意欲満々。応援団が決まった次のお休み時間には、応援歌に合わせての振り付けをみんなと相談したり、だれがどの応援の台詞を言うのかを決めたりしてしていました。そのスピード感と教師からの指示で動くのではなく、自分達で



考え動いている姿には、目を見張るものがありました。

しかし、下級生の応援指導には苦労があった様子。お休み時間の応援練習から帰ってくると、「下級生の指導が上手いきません。」「言うことを聞いてもらえません。」などと、ちょっと弱気な発言が聞こえてくることもありました。それでも、次のお休み時間になると、やるべきことを早々に済ませ、練習に向かっていました。応援団みんなでどのようにすればよいか相談する姿も見られ、下級生を引っ張る

リーダーとしての役割をここでも果たす姿が見られました。応援団以外の4年生も協力的でした。3年生以下の教室にはる応援歌の歌詞を紙に書いたり、応援の練習では応援団と共に大きな声を出したり、応援を盛り上げていました。

練習を開始してから約 1 週間。卒業生とのつどいの本番を迎えたこの日は、朝から応援団員の顔は、やる気に満ち溢れていました。声がしっかり出るように応援の台詞を繰り返し言ったり、振り付けの確認をしたり、もう準備万端です。本番では今までの練習の成果が十二分に発揮され、応援は大成功！ 応援団を中心に、1年生から4年生の大きな声が体育館中に響き渡っていました。応援団員は、「運動会でも応援団に絶対になります。がんばります。」と、今からやる気満々の姿を見せていました。4年生の行動力と堂々とした応援の姿は、本当に立派でした。

じしゃくのふしぎ 3年生



先週から理科の授業で「じしゃくのふしぎ」について学習を始めました。たくさんの実験の中で、磁石は鉄につくということ、磁石には必ず2つの極があること、違う極どうしは引き合い、同じ極どうしは退け合うこと、そしてその極は自由に回転させると、ある方角で止まる性質があるということを知りました。

さて、木曜日はまとめとして鉄（クリップ）を磁石に変える実験を行いました。まず、磁石とクリップを一息懸命こすり合わせていきます。開始5分、「あっ！」とい

う声が出る。その声にかけよると、磁石になったクリップがはさみにぶら下がっているではありませんか。周りの子どもたちからは「お～！」という歓声が。次々に子どもたちはクリップを磁石に変えていきます。そして、磁石になったクリップをはさみの刃につけてみたり、水に浮かばせ北の方角に向くかを調べてみたりと、学習した磁石の性質を踏まえながら、クリップが磁石になっているかどうかを調べていきます。「先生、見てください！くっつきました！」「北の方角で止まる！」「磁石になりました。」という興奮した声が教室のあちらこちらで聞こえてきます。しかし、「なんで私のクリップは磁石にならないの？」という声もちらほら。「何かコツがあるのかもしれない」と気づいた子どもたちは、クリップを磁石にすることができた子に「どうやるの？」「なんでできたの？」とアドバイスをもらいながら、磁石にすることをあきらめません。磁石とクリップの向きを変えずに、同じ方向に向かってこすり合わせることで、クリップを磁石にするポイントだと分かってきた子どもたち。授業が終わるころには全員がクリップを磁石にすることができました。

成功した友だちの喜びをともに分かち合える心と、「分からないこともあきらめず、アドバイスを素直に聞き、やってみる」という学ぶ姿勢が見えた、そんな時間でした。

私たちの展覧会 5年生

3学期が始まったと思ったら もう3月。あと1ヶ月ほしい…と、叶わぬ願いを抱く今日このごろです。

さて、学校では大イベントの展覧会を無事に終え、子どもたちの表情に安堵の色が見えた1週間でした。例年のように作品の制作・準備・当日の活動・片付けとがんばってきた子どもたち。ですが、実は去年とは違うことがあったのです。それは、「私たちの展覧会」という意識を持って取り組んだこと。「誰のためにするのではない、誰のものでもない。私たちのための、私たちの展覧会なのだ」という気持ちでがんばりました。



「これまでは、先生たちの展覧会に参加しているという考えでした」という感想もあり、来年の様々な行事（小学校生活最後の！）への取り組みに期待がふくらみます。

社会科の「番組を作ろう」の映像は、見れば見るほど一人ひとりのキャラクターが味わい深く、せりふや言い回し、次のせりふとの間まで覚えてしまったほど。学習したことをきちんと織り込んだ台本は、なんとわずか1週間足らずで書き上げました。閲覧室の机をホールに運び、中継先の背景となる写真を壁に貼ったら撮影現場のできあがり。OKサインを出したり、台本が見えるように工夫したり、立ち位置をチェックしてジェスチャーで伝えたりと、出番を待つ間も各々が番組作りに参加していました。

みんなで考え、作り上げた番組。「笑いを堪えるのに苦労しました」「もう一度見たくて今日も来ました」「今までの学習が全てまとまって貿易の話になったところがよくできていた」と、うれしい感想もいただきました。映像は、1年間の写真とともにDVDディスクに収めてお渡しいたします。今年も作品一つひとつを丁寧にご覧くださいますようお願いいたします。

スリランカの国からやってきた 2年生



スリランカの高校生が3月13日(月)に来校しました。2年生は、折り紙で富士山の作り方を教えます。出迎えてエスコートをする子、オープニングのセレモニーをする子、折り紙を教える子など、それぞれの役割を決めて準備は万端。子どもたちは、始まる前からドキドキ・ワクワクしていました。繰り返し発音の確認をしていた子もいました。

いよいよ本番です。席へ案内して、セレモニーも済み、一緒に折り紙を折ります。三角形を折ることは上手に伝

わったようです。ところが、折り紙を「ちぎる」ことが上手に伝わらず、身振り手振りで伝えます。練習では、ちぎり方で雪の量が違うことが分かっていたので、バランスよくちぎることを苦労しながらも、一生懸命伝えていました。富士山の頭を折ると、いよいよ出来上がりです。グループによっては、出来上がった富士山を山脈のように並べていたグループもありました。最後に出来上がった富士山を色紙に張り付けて完成です。

高校生が帰った後の教室では、「うまく伝えられなかった」「自分でやるのは簡単だけど教えるのは難しい」という声も聞こえてきました。今回の体験を通して、伝えることの大切さを学んだようです。みんな、またひとつ成長してくれたようです。



児童募集日程

学校説明会 6月10日(土) 10:00~12:00

入学試験 出願期間 10月2日(月)~10月19日(木)
試験日 10月21日(土)

転入試験 7月1日(土), 平成30年1月20日(土)

公開行事日程

自由授業参観 5月9日(火)

運動会 5月20日(土)

自由授業参観 6月7日(水)

白百合祭 9月9・10日(土・日)

自由授業参観 10月5日(木)

クリスマス発表会 12月15日(金)

展覧会 2月24日(土)

25日(日)